

2023年4月19日
医療系1年次生



普段からの**感染への備え** ～一歩先へ行こう 富山大学生～

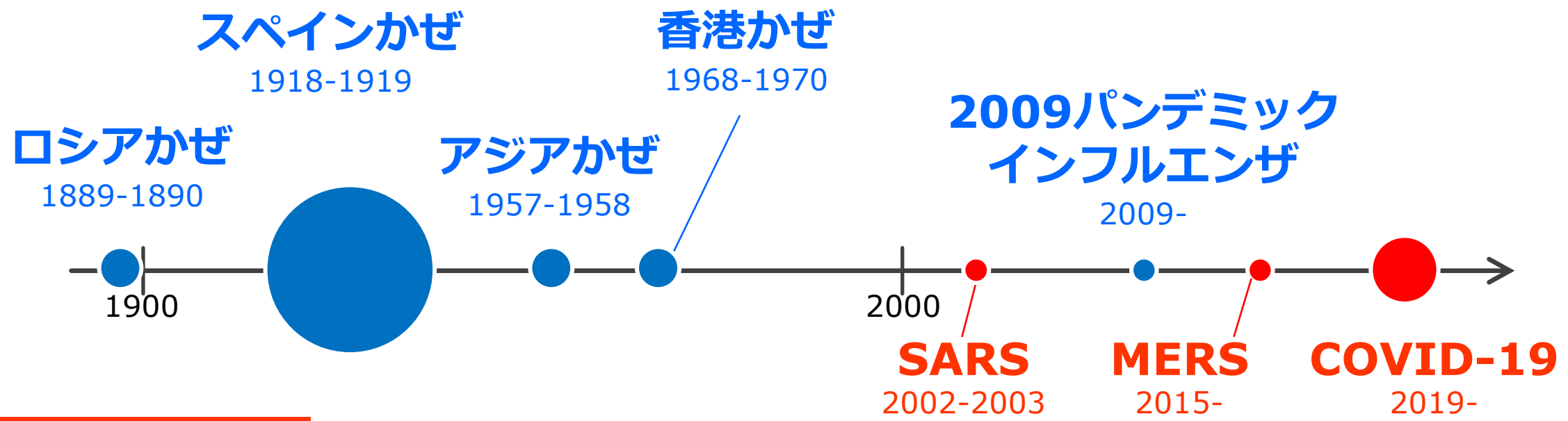
医学部微生物学講座

森永芳智

近代の呼吸器感染症パンデミック

インフルエンザウイルス

(丸のサイズは死亡者数)



コロナウイルス

ウイルス感染に影響する各世代の特徴

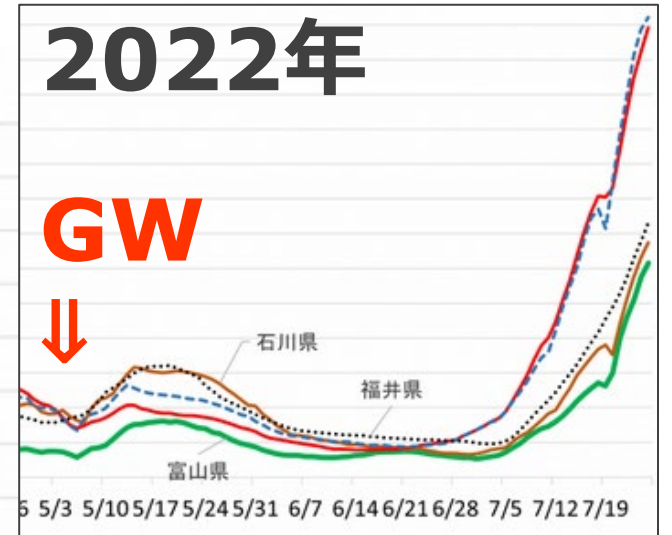
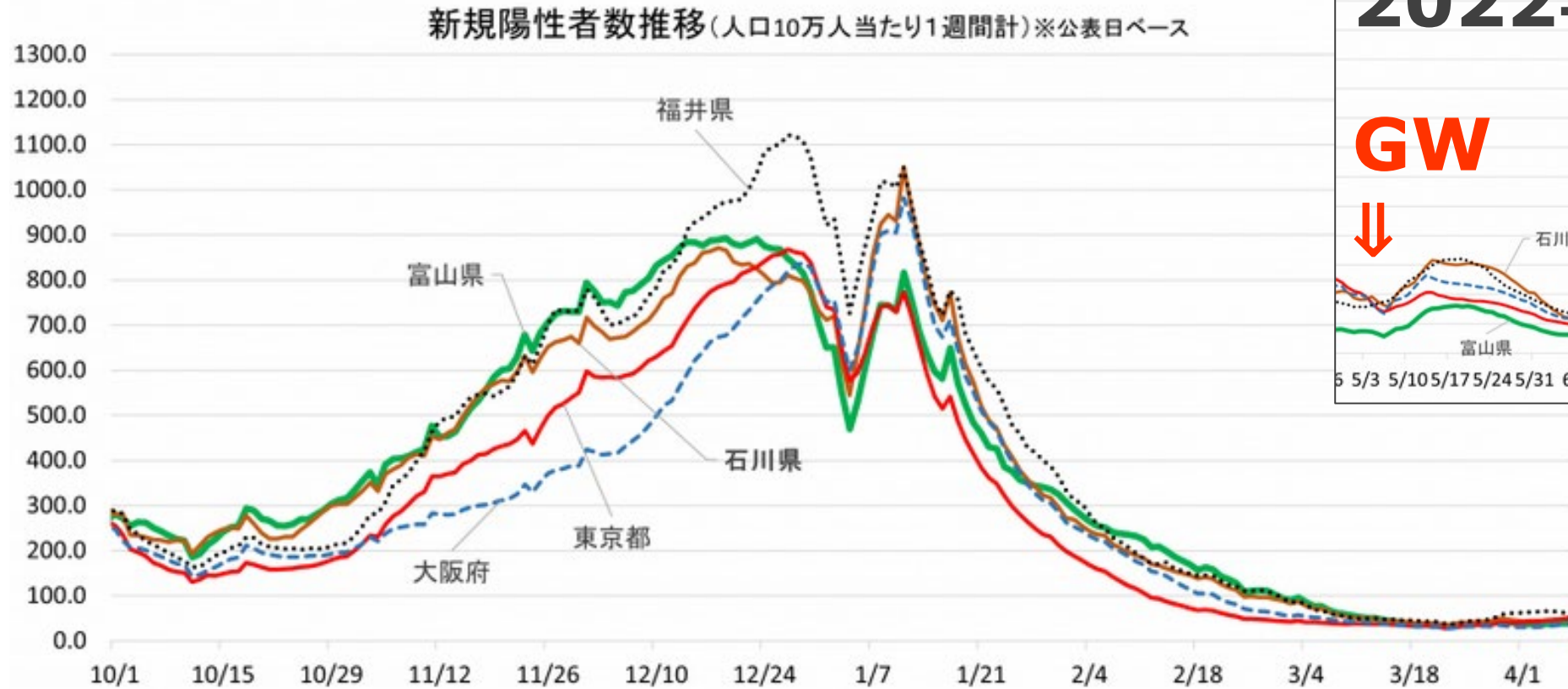
	学童まで	青年	成人	高齢者 病院に通院中 の人
もともとの 免疫力	○	◎	◎	△
ワクチン接種	△	△～○	○	◎
活動度	○	◎	○	△
緊密度	◎	○～◎	△	△

① **今の感染の状況と流行の背景**

② 普段からの感染対策

③ 抗原検査の方法

現在の感染者の状況



仲間を増やしたいなあ



新型コロナウイルス
オミクロン株

受け入れてくれる人

広めてくれる人

をターゲットにしています



ワクチン
不十分度

活動度



① 今の感染の状況と流行の背景

② **普段からの感染対策**

③ 抗原検査の方法

感染対策：立山研修関連に限りません！

日頃からの手指の消毒、マスク着用、感染リスク場面の回避、健康観察

ヒトが多いところは常にリスクです。

買い物、外食、イベント会場、移動中、など

換気が悪いところは常にリスクです。

個室で長時間、など

マスクを外す場面は常にリスクです。

外食、喫煙所（20歳以上）、など

気分の高揚しすぎや過信も常にリスクです。

飲酒（20歳以上）、友人との盛り上がり、など

医療従事者との受け止め方の感覚の違いは大きいかもしれません！

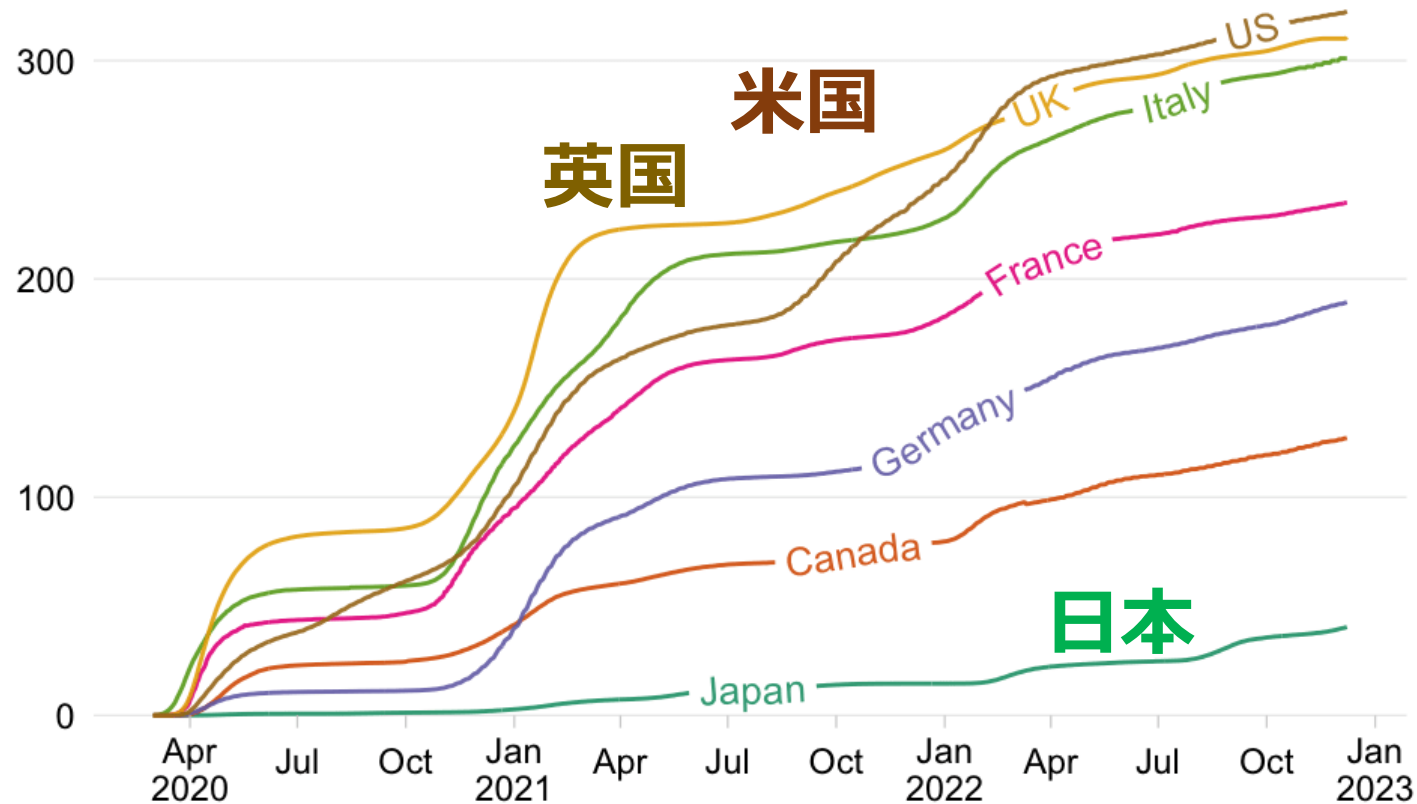
今、かかりやすい人は子供から若い成人

いつでもできる ひと工夫

- 適切にマスクを使う
 - 不織布マスクが基本
 - 鼻に併せて針金で形を整えられるものがよい
- 人ごみを避ける
 - 行く必要がなければ行かないがベスト
 - 混まない時間を選ぶ（お店や交通機関）
 - 同じ場所でも人がより少ない場所を選択
- 久しぶりに会う親戚や知人との間でも注意が必要

政策でかわる社会

COVID-19の累積死亡(10万人当たり)



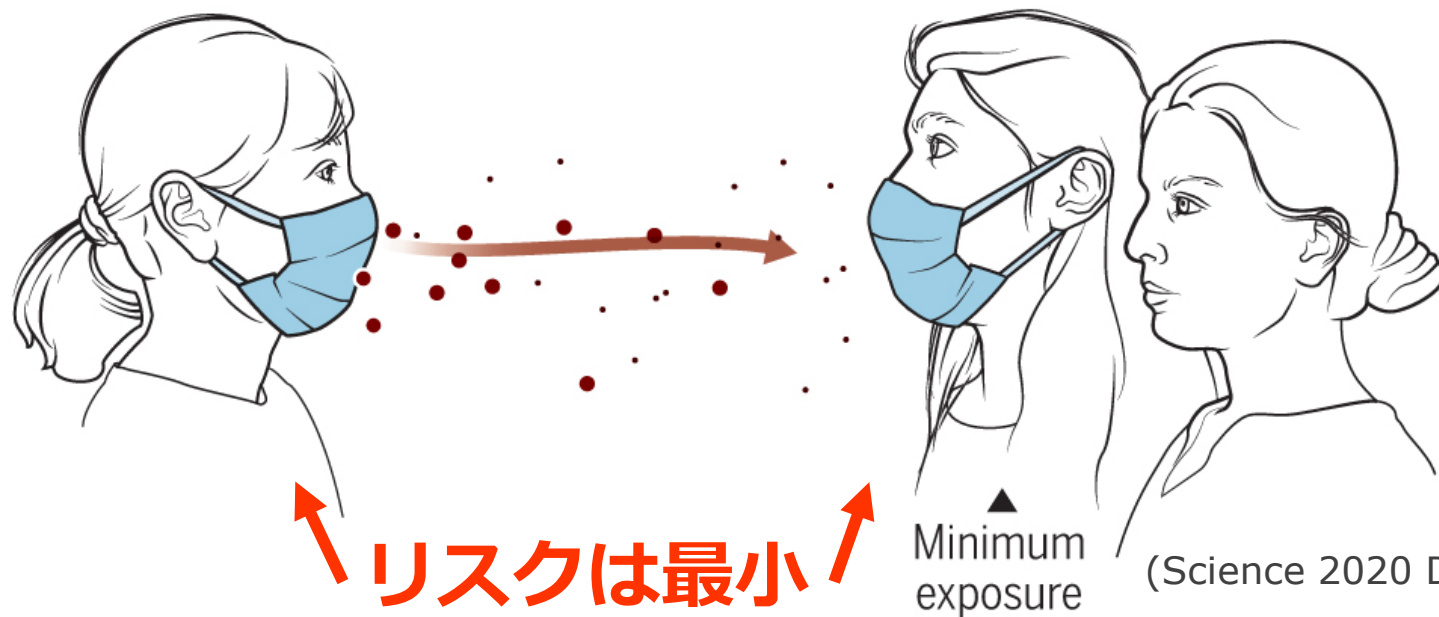
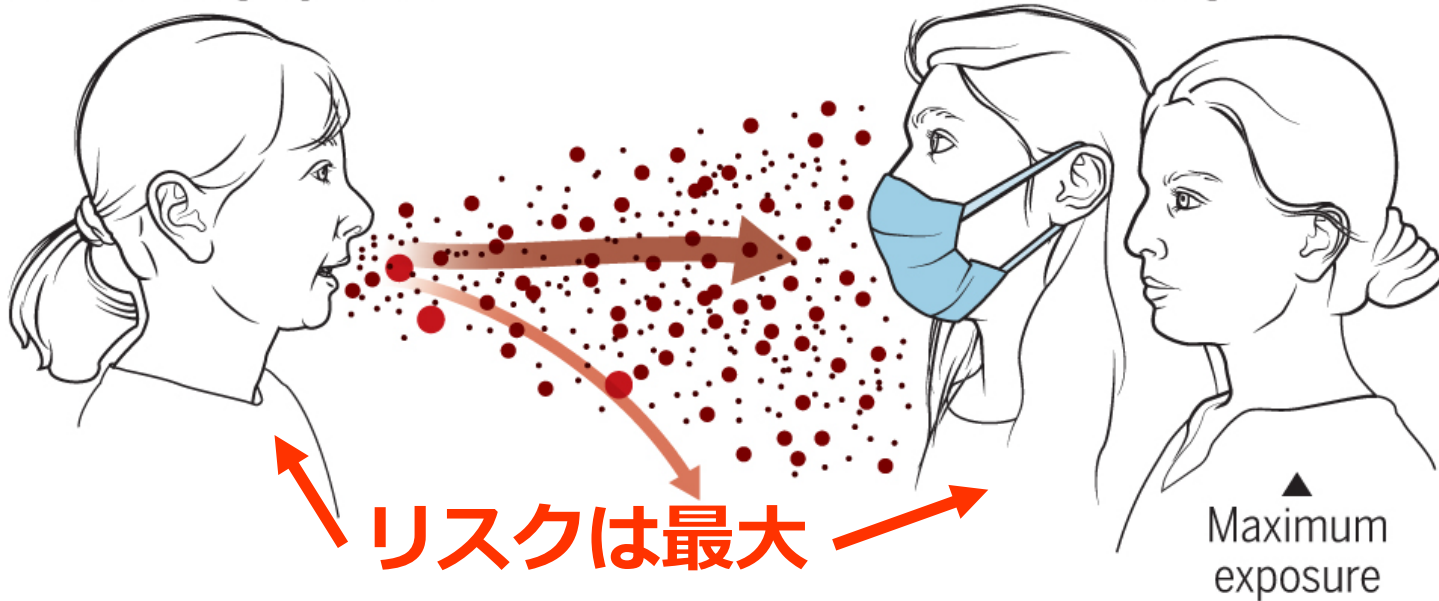
Source: Schellekens (2022); JHU; WPP. Updated: 2022-12-09. Latest: pandem-ic.com
Note: The latest observation for the US is 8x higher than that of Japan.

2022年のマスクの状況



Infected, asymptomatic

Healthy



(Science 2020 DOI: 10.1126/science.abc6197)

感染しても初めはわからない

- 感染した直後からウイルスは増加する
- はじめは症状はない：気づく前に感染させてしまうことがある
- 検査をしても見つからない時期がある：陰性でも感染していないとは言えない

⇒ 普段から備えておくことこそが一番の対策です

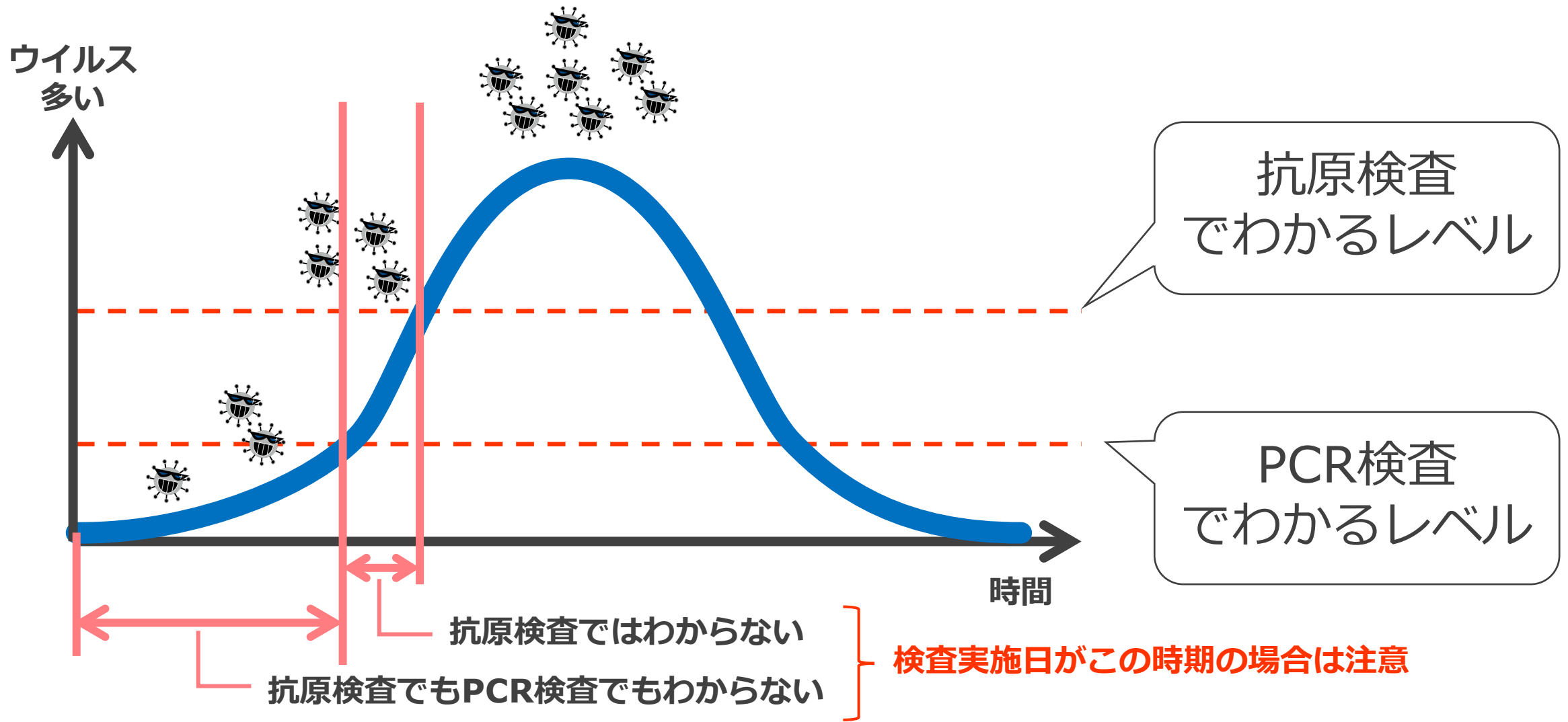
- 検査について正しく理解しましょう
 - 検査に使う材料により見つけやすさが違います（左ほど良い）
鼻の奥（鼻咽頭）＞鼻の前の方（鼻腔）＞唾液
 - 検査の方法により見つけやすさが違います（左ほど良い）
PCR検査＞抗原検査（定量）＞抗原検査（定性）

① 今の感染の状況と流行の背景

② 普段からの感染対策

③ **抗原検査の方法**

微生物量と検査方法の関係



事前に渡される物



自宅ではすべてを普通のゴミとして廃棄して可

顔の中心に向かって、
綿棒を約 2 cm 入れます

※浅すぎるのもNG! 無理のない
範囲で奥へ入れてください

そのまま数回転し、
湿らせてください

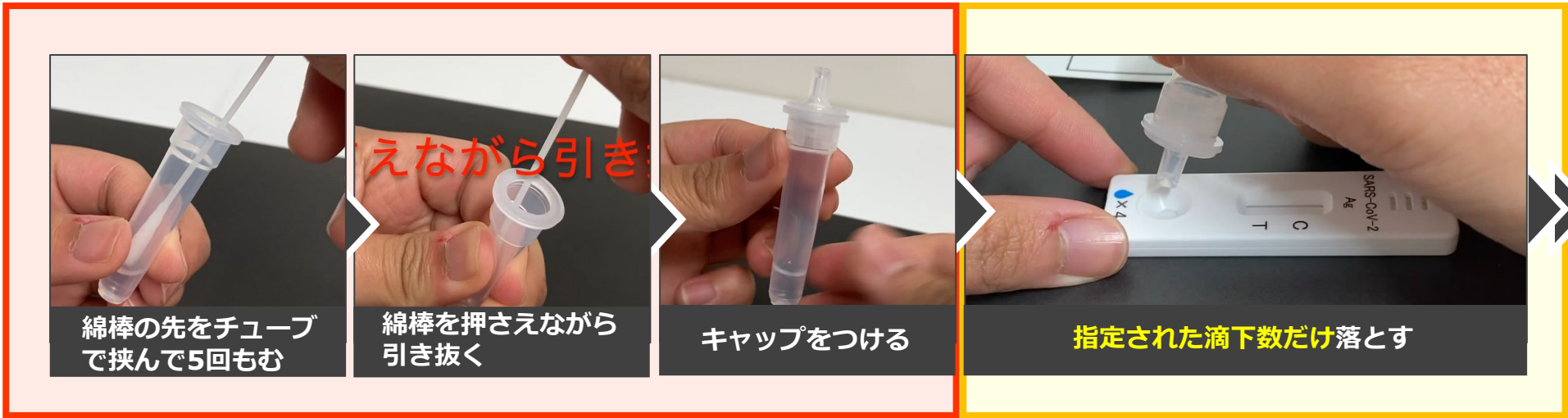
目安：5回転・5秒静止

マスクから
鼻だけ出します

鼻腔粘液の採取を行います

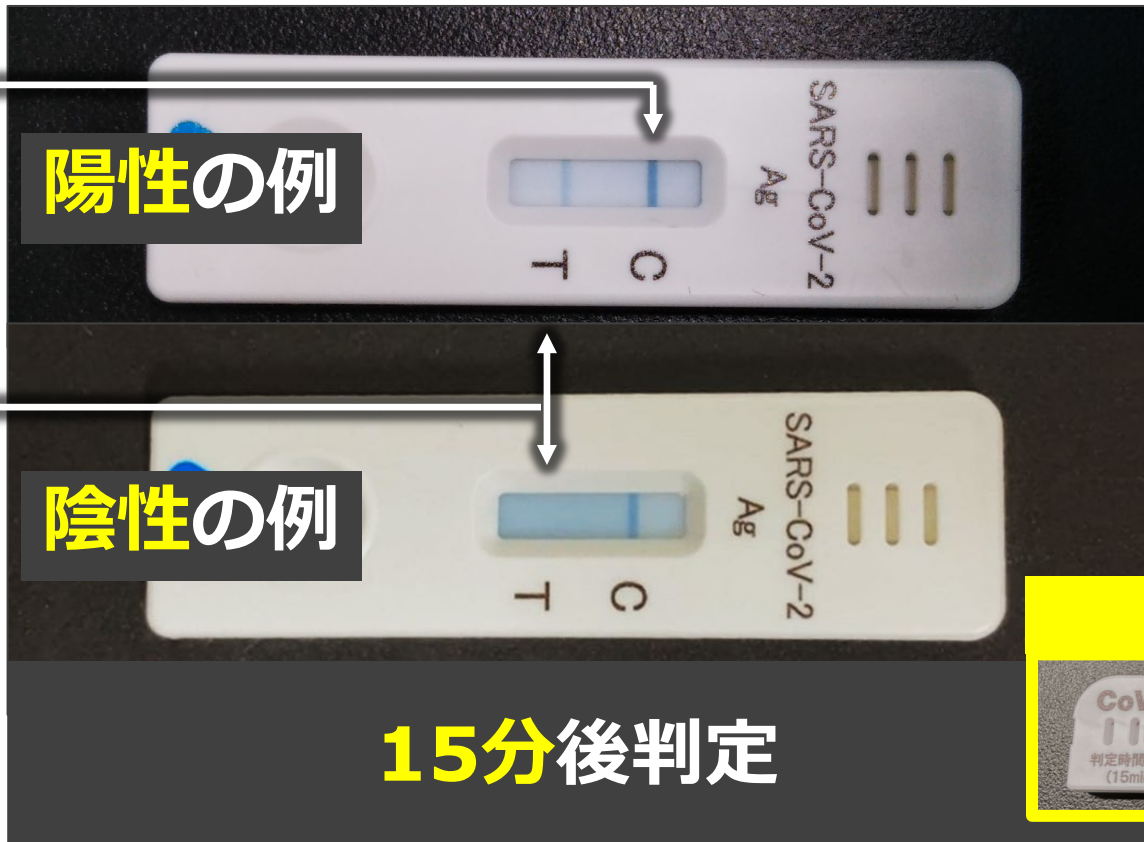


*見本では実際に入れているような演出をしています



Cのラインは
検査成立のライン
(すぐに出る)

Tのラインは
検査結果のライン
(15分内に出たら陽性)



Cのラインが出ていることを確認して、Tにラインがあるかどうかを確認します。



リスクに配慮した行動と健康観察

日 月 火 水 木 金 土

日 月 火 水 木 金

土

検査実施日

日 月 火 水 木 金

土

より一層のリスクに配慮した行動と健康観察

学びを活かした行動

医療人の卵としてのプロフェッショナリズムを持ちましょう。

安全に、安心して、大学生活を過ごしてください。



富山大学 感染症医療人養成プログラム